

令和7年度いきもの大調査 in いいだ報告

「いきもの大調査 in いいだ」にご参加ありがとうございました！



「クロホシタマムシ」
投稿者：ばやしこさん



「ヤマカガシ」
投稿者：いえきさん



「ミネウスユキソウ」 投稿者：YAMAPER ミックさん
※標高2,686mの南アルプスで撮影されています！



「ワタナベカレハ」※蛾の一種
投稿者：雪雲想司さん



「ダイサギ」
投稿者：ゾルミトリブタンさん



「ハツユキソウ」
投稿者：まりなっちゃん



「クロバネセイボウ」※青蜂と書く
ハチの仲間 投稿者：clubbeeさん



「ミドリヒメカゲロウ」
投稿者：そよそよ♪さん

令和7年の夏もものすごく暑かったですね！

暑い中一生懸命この「いきもの大調査 in いいだ」に投稿してくれて本当にありがとうございました！

それにしても、いきものの名前ってとてもおもしろいですね！

写真と名前を見比べて、どうしてこんな名前になったかを想像してみましょう！

募集内容

募集期間 2025年7月14日～9月14日

募集対象 飯田市民（年齢等制限無し、参加費無料）

投稿方法 スマートフォンアプリ「BIOME（バイオーム）」から投稿

投稿できる内容 市内で発見した野生生物…昆虫・植物・水生生物・動物

投稿目標 1人10点以上

投稿結果

投稿数 2,041件（2024年 1,660件） 投稿者数 160人（2024年 155人）

投稿者年齢層（※アンケート回答者からの算出）

10歳未満 8% 10代 0% 20代 4% 30代 36% 40代 12% 50代 28% 60代 12% 70代以上 0%

結果報告

投稿種類ランキング

順位	類名	投稿数
1位	昆虫・クモ	1,055
2位	種子植物	692
3位	両生類	62
4位	その他	52
5位	は虫類	45
6位	鳥類	38
7位	甲殻類	25
8位	哺乳類	23
9位	魚類	18
10位	軟体動物	12
11位	その他動物	11
12位	その他植物	8
合計		2,041

令和7年度いきもの大調査 in いいだ講評

解説：飯田市美術博物館 四方圭一郎学芸員（自然分野）

スマートフォンを使って動植物を撮影し、投稿ネームで投稿するシステムは、参加のハードルが低いため、身近な動植物に目を向けるための第一歩としては有効な方法です。また、身近で見られるようになった外来生物が多く投稿されており、外来種のモニタリングとして効果的な手法であるという一面が見えました。これからも、どんどんと色々な生き物を探して投稿してみてください。そして、生物の大切さに関心をもっていただければ幸いです。

※このイベントの撮影対象は、「野生の動植物」というものですが、外部からの持ち込みや飼育・栽培種と思われる投稿もありました。今後は野生種のみでお願いします。

以下は四方学芸員が選んだ特徴的な投稿です。ぜひご覧ください！

①飯田市の特徴的で、あまり見られない、絶滅が危惧される生き物 …P2～4

②最近増えている外来動物や分布を拡大している暖地性の動物 …P4～5

①飯田市の特徴的な生き物、あまり見られない生き物、絶滅が危惧される生き物

飯田市を代表する生き物の投稿です。だんだんとみられなくなってきています。

ミスジマイマイ（写真:きのこ 168 さん、投稿数:2 件）

飯田周辺で見られる大型のカタツムリ。昔より見られなくなっています。



オオゴキブリ（写真:ta0028 さん、投稿数:1 件）

暖地性で朽ち木の中に住むゴキブリ。

※ゴキブリの語源は、一説には、江戸時代に食膳（御器：ごき）を嚙る（かじる）様子から名付けられた「御器被り（ごきかぶり）」が由来といわれています。



オオムラサキ（投稿数:1 件）

幼虫がエノキやエゾエノキを食べ、里山に広く分布する大型のチョウです。



※投稿写真が非公開設定のためフリーサイト「photAC」から転載しています。

ヤマビル（写真:ぺこたろうさん、投稿数:1 件）

遠山各地や風越山山麓、野底山などで増加中のヒルです。



オオシモフリスズメ（写真:いえきさん、投稿数:1 件）

暖地性で、春に一度だけ出現する大型の蛾。「スズメ」という名前ですが、蛾の一種です。



ヤマトタムシ（写真:たーさん、投稿数:4 件）

南方系の虫で、近年飯田周辺でよく見られるようになりました。



オオセンチコガネ（写真:Auripes さん、投稿数:1 件）

ニホンジカの分服拡大に伴って、飯田市でも分布を拡大している糞虫です。※糞虫とは、主に哺乳類の糞を餌とする昆虫のことです。



タヌキの白化个体（写真:YUNA TABATA さん、投稿数:1 件）

伊那谷にはタヌキの白化个体がたびたび目撃されていますが、他の地域では白化タヌキはあまり報告例がありません。飯田市を含む伊那谷の特徴の一つといえます。非常に貴重な投稿です。



マツムシソウ（写真:YAMAPER ミックさん、投稿数:1 件）

県の半自然草原を代表する花の一つ。里山では大変少なくなっています。※半自然草原とは、草刈り、放牧などの人間活動によって、維持されている草原を言います。



キベリタテハ（写真:Yoshimin さん、投稿数:1 件）

山地帯上部から亜高山帯に生息するチョウ。2025 年は各地でたくさん見られました。



オオミスジ（投稿数:1 件）

北方系の種で、伊那谷では里山で普通に見られたが、近年飯田周辺の平地ではほとんど見かけなくなりました。

※非公開設定のため、写真の掲載ができません。

水色のニホンアマガエル（投稿数:1 件）

アマガエルの色彩異常で、稀に出現するものです。

※非公開設定のため、写真の掲載ができません。

ハンミョウ（投稿数:3 件）

かつては里山に普通に生息していた昆虫だったが、近年激減しています。



※投稿写真が非公開設定のためフリーサイト「photAC」から転載しています。

トラフホソバネカミキリ（投稿数:1 件）

長野県絶滅危惧種の DD（Data Deficient:評価するだけの情報が不足している種）に指定されています。

※非公開設定のため、写真の掲載ができません。

ツキノワグマ（写真:Garida さん、投稿数:1 件）

この写真は本当にツキノワグマと思われます。2025 年は各地で熊が出現しましたが、写真は極めて稀なことです。どうやって撮影したのでしょうか？被害は無かったのでしょうか？驚きの投稿です。



フジアザミ（写真:よねやませみさん、投稿数:1 件）

飯田市では遠山のみに自生するアザミです。



ニッポンハナダカバチ（投稿数:1件）

長野県絶滅危惧種のDD（Data Deficient:評価するだけの情報が不足している種）に指定されています。

アカハライモリ（投稿数:4件）

長野県準絶滅危惧（生息条件の変化によって絶滅危惧に移行する可能性のある種）に指定されています。



※投稿写真が非公開設定のためフリーサイト「photAC」から転載しています。

※非公開設定のため、写真の掲載ができません。

ガムシ（写真:まるじろうさん、投稿数:3件）
県の準絶滅危惧種に指定されています。



ヤマユリ（写真:いていろ～さん、投稿数:5件）
県の希少野生動植物指定種です。



エゾゼミ（投稿数:1件）
山地性のセミです。

※非公開設定のため、
写真の掲載ができません。

②最近増えている外来動物や分布を拡大している暖地性の動物

身近で見られるようになった外来生物が多く投稿されていました。

タイワンタケマバチ（写真:ばやしこさん、投稿数:12件）

近年急増している外来種。2024年は2件のみの報告だったが、2025年は12件の報告でした。



アカボシゴマダラ（写真:アカアシメグモさん、投稿数:8件）

近年急増している特定外来生物。2024年は3件のみの報告だったが、2025年は8件でした。

※アカボシゴマダラ（赤星斑）の名前の由来は、ゴマダラチョウに似た白黒の斑模様（斑＝まだら）を持ち、後ろ翅の裏側外縁に「赤い斑点（赤星）」が並んでいるという見た目の特徴から名付けられました。



マツヘリカメムシ（写真:ゴーヤ売りさん、投稿数:1件）
近年急増している外来種のカメムシ。



アメリカザリガニ（投稿数:2件）

条件付特定外来生物。※ザリガニ（鰍蛄）の名称は、主にその特徴的な移動方法である「後ずさり（退行）」に由来します。



※投稿写真が非公開設定のためフリーサイト「photAC」から転載しています。

アオマツムシ（写真：北夏さん、投稿数：12 件）

秋に樹上で大きな声で鳴く。当地域ではより標高の高い場所へ分布拡大中です。



ツマグロヒョウモン（写真：itoa さん、投稿数：24 件）

暖地帯のチョウで、2000 年ごろから県内各地で見られるようになり、現在は家の周りや花壇など、身近な場所で最もよく見かけるチョウのひとつ。



シンジュキノカワガ（写真：オナガクロハナノミさん、投稿数：3 件）

南方から飛来する蛾で、2024 年に県内各地で大発生しています。写真はその幼虫です。



クロメンガタスズメ（投稿数：1 件）

南方系の蛾で、長野県では 2008 年に飯田市で初めて確認され、一時期多かったが、最近はあまり見られなくなっています。

※非公開設定のため、写真の掲載ができません。

キマダラカメムシ（写真：北夏さん、投稿数：4 件）

日本国内で分布を拡大しているカメムシで、当地域では 2025 年に急増し、各地で観察されています。



クロツバメシジミ（写真：コガネキヌカラカサタケさん、投稿数：1 件）

近年人為放チョウと思われる九州北部の個体群（国内移入種、別亜種）と思われるものが飯田下伊那地域で分布拡大しており、在来個体群との交雑も DNA の解析から明らかになっている。写真からは、どちらの個体群か判断できません。



オオウンモンクチバ（写真：うしろまえもさん、投稿数：2 件）

近年見られるようになった南方系の蛾です。ウンモンは「雲紋」で模様が雲のように見えることから、クチバは「朽葉」の色に由来することからです。



ヤモリ（写真：ばんおじファミリーさん、投稿数：1 件）

もともと長野県で記録が無かったが、近年飯田でも確認されるようになってきました。今後分布が拡大していく可能性がある種類です。

※ヤモリの名前の由来は、家の中の害虫を食べてくれることから、「家（や）を守る」という意味で「家守（やもり）」と名付けられたとされています。



令和 7 年度いきもの大調査 in いいだ 投稿者アンケート抜粋

自宅の周りの草花や虫達を何気なく投稿しましたが、名前がわかると面白くなり子供をほったらかしに撮影していました。

トンボ類は動きがはやく、撮影技術が必要でした。普段なにも見ずに過ごしていたことに気づき、田んぼの中を夢中で覗きこんで子供の頃の登下校を思い出しました。連写の機能を覚えてスマホの技術向上しました。

このような機会をいただきありがとうございます。

2歳児の子どもと妻と家の周りの散策をしながら自分も子どもも学ぶことが出来ました！非常に楽しく、これからも続けていきたいと思えます。

もともと庭に来る生き物や庭の花を写真に撮るのが好きでしたが、ここ数年、来る生物の種類が変わってきている気がしていました。今回、他の方々の写真で、我が家では見かけなくなった虫たちが同じ飯田内で生活しているのを見て、ちょっとほっとすると同時に、いつまでも身近な生き物でいて欲しいと改めて思いました。楽しかったです。

毎朝 10 分程、家の近くで草花と虫を探す事が習慣になり、楽しんでいます。

蝶や蜻蛉に出会うのに、じっと溜まってくれないので中々写真を撮る事ができず残念です。そして今年はまだ殆ど蟬の声を聞けず、蟬の写真も撮れなくて残念。

まだ孫が小さくて一緒にかわらんべや水辺の楽校に行けず、来年以降もこの企画が続いていて、孫と出掛けられるのを楽しみにしています。

アプリを使用することで身近な自然に触れられるいい機会になり良かった。

面白かったです。もっと稀少種を見つけたかったです。住んでいる地域の動植物に関心が持てて良かったです。除去すべき外来種のデータが集まったと思うので、一斉に除去するために、回覧板などで周知してもらおうのが良いと思えます。

普段気にしない生き物の名前を知ることが出来て楽しい。

子供との会話になってとても楽しかったです。

撮影が難しいことが、ときにあり、それも含めて楽しめた。

昨年も参加しましたが植物が多かったので、今年は身近な動物の写真を撮りました。

多くの方々が珍しい動植物の撮影をすると身近な動植物の写真が少なくなるのではないかと思います、あえて身近な動物を対象としました。

いろいろな植物や生き物を見つけられて楽しかったです。

毎日の犬の散歩で知らない植物や昆虫を画像に撮り、図鑑で調べていました。この企画を新聞記事で読み参加しましたが、個人のコレクションとしても思い起こすことができますし、好奇心も湧いてきます。

子供達だけでなく、大人にとっても楽しい散歩になりました。

生き物がとれると嬉しい。

自然に触れると、大切にしたくなる。

小さないのちを絶やさない為に考えるきっかけにつながる。

今年もやりました。楽しかったです

知らない植物や動物や昆虫に出会うことができより飯田の自然が好きになりました。

どんどん図鑑を増やし子供達に教えてあげられるようになりたいと思えます。

昨年に引き続き参加いたしました。道端で見かける草一つ一つ、そして飛んでいる虫たちにも名前がちゃんとついていて、珍しいものから珍しくないものまで、色んな種類の動植物を知ることができて楽しかったです。普段は気にすることがなかった自然に目を向けることができました。

自宅近辺の広くない範囲でも、住宅地、公園、河川沿い等で生息する生きものの種類がずいぶん違ったり、昨年はあまり見なかった虫が凄くたくさん見かけられたり…環境による生きものへの影響の大きさを楽しく感じることができました。

観察、投稿を引き続きしていきます！

ハマりました！

身近な生き物も、カメラを向け、調べてみると意外な発見があり、楽しかった。

元々生き物は好きでしたが、今回の「いきもの大調査 in いいだ」をきっかけに、数が増えている外来種や数が減っている在来種を知って、今まで以上に地域の生態系を注意深く観察し、今まで知らなかった多くの生き物たちに出会うことができました。

また家族と共に楽しむことで、家族交流の良いきっかけにもなりました。

次回も機会があればまたチャレンジしたいと思います。

素晴らしい企画をありがとうございました。

※いきもの大調査 in いいだにご参加された方で、投稿データを見る場合は、バイオームアプリから以下の作業で閲覧できます。



④ここを押す

⑤「みんなの投稿」を押すと、いきもの大調査 in いいだの投稿データのうち、投稿の公開範囲を全てのユーザーとした写真を閲覧できます。

令和7年度いきもの大調査 in いいだ 投稿種分布図

